

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名 (担当形態)	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
2301124	進路指導論(キャリア教育を含む。) Vocational guidance (Career education)	山田 陽平	専門	2	必修	3年 後期

**科目の概要**

進路指導は、生徒が自ら将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。本科目では、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを学ぶ。 ② 学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を学ぶ。 ③ 進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を学ぶ。 ④ 職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラム・マネジメントの意義を学ぶ。 ⑤ 主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を学ぶ。 ⑥ 生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義とポートフォリオの活用の在り方を学ぶ。 ⑦ キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を学ぶ。	① 教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを理解している。 ② 学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を例示できる。 ③ 進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解している。 ④ 職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラム・マネジメントの意義を理解している。 ⑤ 主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を理解している。 ⑥ 生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を例示できる。 ⑦ キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を説明することができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	必須の資料以外の情報(特に、書籍、論文)にアクセスする。
	働きかけ力	
	実行力	書かれていることや人の話を鵜呑みにするのではなく、ほんとうにそうなのか検証する。
考え抜く力	課題発見力	よりよい進路指導・キャリア教育を行うために知らなければならない子どもたちをめぐる課題を挙げる。
	計画力	
	創造力	複数の文献を読み、よりよい進路指導・キャリア教育のあり方を考える。
チームで働く力	発信力	良質な情報を見極め、自分の言葉で再構築し、適切な表現で他者に伝える。他者が理解できない場合は表現を柔軟に変更して再トライする。
	傾聴力	好き嫌いや気分に関係なく、他者の考えを丁寧に聞く。適当な質問をして他者の考えを引き出す。他者の意見を認める。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	本授業では他者と協調することが求められるため、協調しようと努力することを規律とする。協調は仲良くすることと同義ではない。本授業で求められている課題に対して共に協力してよりよい成果を出すことを指す。すなわち、根拠をもって自分の意見を提示し、他者の意見や気持ちに配慮し、一緒によりよい解を作り上げることを指す。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト①: 高等学校キャリア教育の手引き 文部科学省 教育出版  
 テキスト②: 中学校キャリア教育の手引き 文部科学省 教育出版  
 ※中学校免許状を取得する者は②も準備すること。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連: 教育心理学, 発達心理学, 生徒指導論, 教育相談  
 資格との関連: 中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校教諭一種免許状(家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
とにかく多くの文献を読むことを求める。難しいと言ってすぐにあきらめるのではなく、何度も読む、わかるところがないかを探し、他の文献にトライするなど、理解するためにやれることをすべて実行してもらいたい。	予習としてテキストを読んでもることを前提に授業を展開する。教職科目であることをから、原則として、1回の欠席も認めない。万が一欠席する場合は事前に担当者まで連絡をした上で、自分で補習を行いその証拠を示すこと。特別な事情による欠席については補習で代える。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	20	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ ⑥ ✓ ⑦ ✓	到達目標に応じたレポート課題を課す。 ・進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解しているかを評価する(①から③に対応)。 ・全ての生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方を理解しているかを評価する(④⑤に対応)。 ・生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題ぬ向き合う指導と在り方を理解しているかを評価する(⑥⑦に対応) レポートを提出しない場合は不可とする。
成果発表 (口頭・実技)			
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	以下の七つの観点それぞれに対して、15週を通して観察し、評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必須の資料以外の情報(特に、書籍、論文)にアクセスしている。(主体性)</li> <li>● 書かれていることや人の話を鵜呑みにするのではなく、ほんとうにそうなのか検証している。(実行力)</li> <li>● よりよい進路指導・キャリア教育を行うために知らなければならない子どもたちをめぐる課題を挙げている。(課題発見力)</li> <li>● 複数の文献を読み、よりよい進路指導・キャリア教育のあり方を考えている。(創造力)</li> <li>● 良質な情報を見極め、自分の言葉で再構築し、適切な表現で他者に伝えている。他者が理解できない場合は表現を柔軟に変更して再トライしている。(発信力)</li> <li>● 他者の考えを丁寧に聞いている。適当な質問をして他者の考えを引き出せている。他者の意見を認めている。(傾聴力)</li> <li>● 他者と協調している。(規律性)</li> </ul>
その他	70	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ ⑥ ✓ ⑦ ✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新聞課題 14点(1回1点×14回)</li> <li>● 予習課題 14点(1回1点×14回)</li> <li>● 復習課題 42点(1回3点×14回)</li> </ul> 新聞課題は、授業の始めに持ってこられていない場合は0点とする。 予復習課題の遅刻提出は認めない。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
以下の3点をすべて説明でき、かつ欠席0回及びすべての課題を期限までに提出していればAとする。これを満たさない場合はB以下とする。 ・進路指導・キャリア教育の意義や原理 ・全ての生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方 ・生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題ぬ向き合う指導と在り方  これに加えて、指定する資料以外の文献を多分に参照していればSとする。	以下の3点をすべて説明できる。 ・進路指導・キャリア教育の意義や原理 ・全ての生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方 ・生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題ぬ向き合う指導と在り方

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	キャリア教育の必要性と意義(1) ・キャリア教育が提唱された背景 ・キャリア教育の定義 ・キャリア教育の目標	講義グループ討議	キャリア教育の必要性と意義を説明できる。	ことわりがない限り、以下の予復習範囲はテキスト①に対応する。 予習:テキスト第1章第1節1から3までを読んでくる。 復習:課題に回答する。 予復習課題の内容は到達レベルC(可)の基準に書いてあるものを基本とし、進行状況にあわせて適宜追加修正を指示する。15週まですべて同様とする。	60	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	キャリア教育の必要性と意義(2) ・キャリア教育に期待されること ・キャリア教育の意義 ・近年の若年者雇用の動向とキャリア教育	講義グループ討議	キャリア教育の必要性と意義を説明できる。	予習:テキスト第1章第1節4から6までを読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	キャリア教育と進路指導	講義グループ討議	教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを説明できる。	予習:テキスト第1章第3節を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	小学校におけるキャリア教育の特質	講義グループ討議	小学校におけるキャリア教育を説明できる。	予習:テキスト第1章第4節1を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	中学校におけるキャリア教育の特質	講義グループ討議	中学校におけるキャリア教育を説明できる。	予習:テキスト第1章第4節2を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	高等学校におけるキャリア教育の特質	講義グループ討議	高等学校におけるキャリア教育を説明できる。	予習:テキスト②第1章第3節2を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	大学におけるキャリア教育	講義グループ討議	大学におけるキャリア教育を説明できる。	予習:配付資料を読む。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	組織的な指導体制 ・校内組織の整備 ・全体計画・年間指導計画の作成	講義グループ討議	進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制の在り方を説明できる。	予習:テキスト第2章第1節から第4節までを読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	連携	講義 グループ 討議	進路指導・キャリア教育における家庭や関係機関との連携の在り方を説明できる。	予習:テキスト第2章第5節を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	職場体験活動	講義 グループ 討議	効果的な職場体験活動の在り方を説明できる。	予習:テキスト②第2章第5節を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	インターンシップ	講義 グループ 討議	効果的なインターンシップの在り方を説明できる。	予習:テキスト第2章第6節を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	キャリア教育の評価	講義 グループ 討議	キャリア教育の評価の在り方を説明できる。	予習:テキスト第2章第7節を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	個に応じた指導・支援とキャリア・カウンセリング	講義 グループ 討議	キャリア・カウンセリングの基本的な考え方と実践方法を説明できる。	予習:テキスト第3章第3節を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	ポートフォリオ:キャリア教育の成果を蓄積する。	講義 グループ 討議	生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を例示できる。	予習:配付資料を読む。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	教科における取組	講義 グループ 討議	教科におけるキャリア教育の取組を説明できる。	予習:テキスト第3章第4節を読んでくる。 復習:課題に回答する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力